

寄せられたご意見と市の考え方

意見	回答
最寄りのバス停の明和団地から多治見駅北口までの路線バスがあります。本数が少ないと感じております。JR 線を利用する際に自家用車で立体駐車場まで行くことが多いです。駅北庁舎を利用する場合も自家用車で行っています。200 円バスなど、運賃を安くするよりも、本数を増やして欲しいです。 食料品の買い出しにはバロー根本店を利用することが多いですが、明和団地から JR 根本駅周辺へは路線バスなど交通手段がないため、自家用車が必要です。 多治見市民病院や県立病院に、私や家族が入院、通院したことがあります。 明和団地のバス停から、直通バスはありません。 多治見駅で乗り換える必要があり、自身が患者で体調がすぐれない時や、荷物が多めの時などには非常に不便です。明和団地のバス停から多治見市内の行きたい場所へ、直接行くことができる路線がないのが、長年残念に思っています。 運賃に小銭を用意するのが大変手間取ります。 キャッシュレス決済を導入していただきたいです。	ご意見ありがとうございます。下記のとおり回答させていただきます。 ①便数については、バスの利用者数や運転手不足の問題などにより増便はなかなか困難な状況です。多くの市民にもっとバスに乗ってもらうことがバス路線を維持できる方法です。バスの利用を促進するため、10 月から 65 歳以上を対象とした「バスチケット 65」事業を開始するなど多治見市地域公共交通計画に沿った事業を進めていきます。 ②路線バスは、基本的には多治見駅と郊外を結ぶ路線が中心です。郊外からは多治見駅まで路線バスで移動していただき、市民病院又は県病院行きのバスをご利用ください。路線バスからききょうバスへの乗継券もご利用できます。体調不良や荷物が多い場合などに目的地へ直接行く場合はタクシーをご利用ください。 ③キャッシュレス決済につきましては、事業 5－3「新技術を活用した M a a s（予約・決済方法等）の導入の検討」により進めていきます。また、事業者にご意見を伝え、早期導入をお願いします。
現行の 200 円バス制度の拡充（土日祝日を含め、終日、全ての路線バスを対象にする）こそ必要なことです。これによって、利用者が増え、公共交通を守る第一歩となります。多治見市が「公共交通利用促進」をめざすのであれば、通勤・通学時間帯にテコ入れをして、道路状況の改善につなげることを考えるべきです。従って、高齢者のみのチケット制度に移行する事に反対します。 市民の交通権を拡大する	ご意見ありがとうございます。下記のとおり回答させていただきます。 ①200 円バスについては、一定の評価をしつつも市民の公共交通利用促進を図るため、令和 6 年度下半期から高齢者に対して運賃を助成するチケットを支給する事業に転換することを決定しま

市民生活を豊かにするためには、衣食住に次いで交通権が重要となっています。市民アンケートでもいつも上位を占めています。移住者が重視する条件も、駅やバス停まで徒歩 10 分～15 分以内、お年寄りの人は、250m～500mだと言われています。 公共交通に望まれるのは、安全・快適・定時制と同時に安価な事です。 高齢者が交通弱者であることに違いありませんが、病弱者・子供や学生など自由に自家用車に乗れない人、車を持たない人たちにも等しく交通権を行使できる仕組みを考える必要があります。子供の時から、公共交通に親しみを持っていただける自治体をめざしてほしいです。 3, 200 円バスの評価 200 円バスの利用状況は、65 歳以上が約 8 割を占め買い物や通院など生活する上で必要な外出です。だからといって「高齢者に絞った事業」に絞る理由にはなりません。冒頭に記述したように、子供の頃から「公共交通に親しんでいただく」ことが重要だと考えます。決して、公共交通をお年寄りだけの施策にしてはなりません。 4, 所感 スケジュールをみると実施までに 2 ヶ月余しかありません。パブリックコメントは、何のために行うのでしょうか。私たちは、市民の声を「聞いた」というアリバイづくりの道具と写っています。交通権は人権の一つです。もっと時間をかけてもいいのではないのでしょうか。	した。 ②地域公共交通計画の中には、高齢者だけでなく、学生及び子どもを対象とした公共交通の利用促進を行う事業（4－5 及び 4－7）を、実施していきます。 ③交通弱者や自家用車を持たない方などについては、公共交通の 1 つであるタクシーを利用するか、又は地域あいのりタクシーやデマンドバスなどの地域内交通をご利用ください。地域内交通の運行及び支援を行う事業を引き続き実施していきます。
まず、「自家用車に頼らなくても移動できる公共交通体系づくり」という目標に無理があります。多治見市が郊外団地で形成されているので、バス停が歩いて行けるところにありません。理想なのが、AI 技術を使ったオンデマンドバス。直前まで予約できて自動でルート決定ができるのが便利かと思います。公民館や街の病院、コンビニなど短い距離にタクシーは不便です。主要路線も本数が少なくなっていて使いづらいです。自動運転が可能なら、人口が 10 万人を割らない内に新しい技術を早く導入してください。 私はバス、自転車、車、JR と日常に使うことがあるので移動問題は気になります。公共交通ではないが、シェアサイクルも市内にあって便利に使っています。自家用車に頼	ご意見ありがとうございます。下記のとおり回答させていただきます。 ①バス路線が廃止された根本・小泉・市之倉地域ではデマンドバスが運行されていますが、10 月 1 日からのバスチケット 65 での利用促進により事業継続を支援します。必要に応じて同様の地域内交通の導入支援を、目標 2 で進めていきます。また各地域でのあいのりタクシー事業を引き続き支援し、導入を検討する地域へ

らないとうたっているなら自転車が走りやすいよう新設道路の路肩は広く取り、既存の道路は他地域のように道路表示で運転手に分かるように記してほしいです。 一昨年、86歳の運転手に横断歩道で跳ねられ大怪我を負いました。この地域に住んでいると歩けないと移動することができないというのを身を持って実感しました。タクシーも捕まりません。歳を重ねたら住めない街になる前に自由に移動できる街にしてください。	の支援も行います。 ②自動運転については事業５－１に位置付けて持続可能な公共交通サービスとして研究を開始します。 ③自転車が走りやすい道路環境については、道路を所管する道路河川課にご意見を伝えます。
--	--